

Type Project

Drop&Type よくある質問

▶ 作者名の保存方法は？

「初期設定」を開き、「初期設定ファイルに制作者名を保存する」にチェックを入れて OK して下さい。その後、作者名（英語）を入力し、アプリケーションを終了して下さい。次回起動時には、前回入力した内容が自動入力されます。

▶ フォント名の保存方法は？

「初期設定」を開き、「初期設定ファイルにフォント名を保存する」にチェックを入れて OK ボタンして下さい。その後、日本語・英語共にフォント名を入力し、アプリケーションを終了して下さい。次回起動時には、前回入力した内容が自動入力されます。

▶ フォント名に使用できる文字は？

フォント名（日本語）では、ひらがな、カタカナ、JIS 第 1 水準・第 2 水準漢字、A～Z、a～z、_（アンダーバー）、0～9 のみが使用可能です。全角英数と半角カタカナは使用出来ません。

フォント名（英語）では、A～Z、a～z、_（アンダーバー）、0～9 のみが使用可能です。

▶ 一つのフォントに何文字まで入れることができますか？

Drop&Type 2.0 は、複数のドロップシートを同時にドロップすることで、最大 3,000 文字を含むフォントを一度に生成することができます。Drop&Type 1.0 では、一つのテンプレート（最大 280 字）ごとに、別のフォントファイルとなります。

▶ 生成できる文字の範囲は？

Drop&Type 1.0 は、StdN の範囲（Adobe-Japan1-3 プラス JIS2004 字形）の全角文字を生成できます。Drop&Type 2.0 は、これに加え、StdN の範囲のプロポーショナル欧文に対応しています。

▶ 同じフォント名で複数のフォントを作って、一つのフォントのように利用することができますか？

同じ名前のフォントを同時に複数インストールすることはできません。同じ名前のフォントが複数ある場合、システムはそのうち一つしか認識しません。また、同じ名前のフォントが併存する状況は、トラブルの原因となる可能性があります。同時に生成可能な文字数（Drop&Type 1.0 は 280 字、Drop&Type 2.0 は 3,000 字）字種を使いたいときは、たとえば「MyFont1」「MyFont2」「MyFont3」などのように、異なる名前にしてください。

▶ 何度か生成を繰り返せば、1 ファイルに 9,498 文字そろったフォントを作成できるのでしょうか？

1 回の生成ごとに、別のフォントファイルとなります。Drop&Type による簡易フォントで 280 字を超える字種を同時に使いたい場合は、複数のフォントファイルをインストールすることになりますので、それぞれのフォントには異なる名前をつけておいてください（同じ名前のフォントは、同時にインストールして使うことはできません）。

▶ 変換されないパスがあるのですが

Type Project

文字ボックスと小数点以下まで含めて完全に同じ座標、同じ大きさのパスは変換されません。マニュアルの「フォントにするベジェパス」「フォントにするベジェパスについて」を参照して下さい。

▶ プロポーショナル文字には対応していますか？

Drop&Type 2.0 は、プロポーショナル幅の欧文に対応しています。Drop&Type 1.0 は、和文も欧文もプロポーショナル文字には対応していません（全角＝正方形枠のみの対応となります）。

▶ ○のような中抜き文字のつくりかたは？

Adobe Illustrator 上で、パスファインダの形状モードの「前面オブジェクトで型抜き」を設定してください。

▶ 対応文字が重複した場合は？

どちらか一方が生成されます。

▶ 縦書き用と横書き用の区別は？

小書きの仮名や、句読点、音引き、括弧類などは、縦書き用と横書き用を別にデザインする必要があります。詳しくはマニュアルを参照してください。

▶ Adobe Illustrator 8～CS4 の ai ファイルは変換出来ますか？

Drop&Type は、Adobe Illustrator CS5 以上の ai ファイルに対応しています。

▶ Adobe Illustrator 上のオブジェクトはロックしてあっても問題ありませんか？

はい、問題ありません。

▶ 文字ボックスからはみ出ても変換できますか？

はみ出しの許容範囲は設定されていません。ボックスに一部でも架かっているパスは、そのボックスに属すると判断されます。ただし、なるべくボックスに大半のアンカーポイントが収まるようにした方が安全です（「フォント化したら、文字の形が変わってしまったのですが？」も参照してください）。

▶ 二つのボックスにまたがってパスを置いてもいいですか？

二つのボックスをまたいだ場合、どちらか一方のボックスにのみパスが所属しますので、意図しない変換になります。

▶ 対応文字の大きさに制限はありますか？

いいえ、ありません。

▶ 対応文字のフォントは変更してもかまいませんか？

はい、問題ありません。ただし、OpenType フォントを指定して下さい。TrueType フォントや CID フォントで指定した場合、対応文字と変換後のフォントでのマッピングが一致しません。

Type Project

▶ Mac 版の Drop&Type で生成したフォントを Windows で使ったり、Windows 版の Drop&Type で生成したフォントを Mac で使ったりすることはできますか？

Mac/Windows のどちらで生成したフォントも、Mac OS X/macOS、Windows 7、8、8.1、10（いずれも日本語版）の一般的なアプリケーションで使用可能です。

▶ 生成フォントが使用できないアプリケーションはありますか？

OpenType フォントを正式にサポートしているアプリケーションであれば使用可能です。OpenType を TrueType として扱うアプリケーションでは使用出来ない場合があります。

▶ アンカーポイント数が 1000 を超えた場合の挙動は？

フォントの仕様上、「一つのグリフの上限バイト数 (65535 バイト)」が定められており、これを越えなければ大丈夫です。ただし、アンカーポイント数が増えると、この制限に引っかかる可能性が出てきます。その場合、フォント化が成功しているように見えても、文字が正常に表示できない状態になることがあります。このような問題を避けるために、なるべくアンカーポイント数が 1000 を越えないように、オートトレースの設定をスムーズ目にしてください。一つのパスの上限ポイント数を越える場合にそのパスを無視して変換するオプションも、初期設定に用意されていますので、併用してください。

▶ フォント化したら、文字の形が変わってしまったのですが？

片ハンドルの曲線は変換に失敗する場合があります。両ハンドルで曲線を作るように心がけてください。また、ハンドルが長すぎてフォントの中で表現出来る数値を越えると、形状が崩れてしまいます。フォントを作る際は、このように長いハンドルを極力なくすため、「文字の上下左右の頂点部分がカーブである場合、その位置にアンカーポイントを置く」という手法があります（これを「エクストリームポイントを持たせる」と言います）。

▶ 注意点はありますか？

ドロップシートの配置を動かさないこと、エクストリームポイントを意識したパス設計をすること（「フォント化したら、文字の形が変わってしまったのですが？」も参照してください）、使用する Illustrator CS/CC のバージョンを CS5 以上で統一すること、ドロップシートのボックス下の「対応文字」のフォントを TrueType フォントにしないこと、ドロップシート保存時には「PDF 互換ファイルを作成」にチェックを入れてフォントのサブセットを 100%で保存すること、などの点に留意してください。

▶ 生成されない文字があるのですが、なぜですか？

Drop&Type は、「ドロップシートに対応文字があり、図形も載っている」文字を含むフォントを生成します。ドロップシートに対応文字があっても、図形が載っていなければ「空の文字」として扱います。

▶ 生成したフォントはどこにあるの？

Mac 版の Drop&Type 1.0 では、生成したフォントは、アプリケーション (DropAndType) と同階層の「生成フォント」フォルダに保存されます。Drop&Type 2.0 (Mac 版/Windows 版) および Mac 版の Drop&Type 1.0.1 では、生成したフォントは、下記の場所の「生成フォント」フォルダに保存されます（「生成フォント」フォルダには、「ファ

Type Project

イル」メニューの「生成フォントフォルダを開く」でアクセスすることができます)。

・ Mac 版 1.0.1/2.0

ユーザ名>書類>DropAndType1.0>生成フォント

・ Windows 版 1.0

PC>ドキュメント>DropAndType1.0>生成フォント

・ Windows 版 2.0

PC>ドキュメント>DropAndType2.0>生成フォント

▶ フォント生成中に、文字の形のパラパラアニメが表示されないことがあるのですが、なぜですか？

Drop&Type 2.0 で複数のドロップシートを同時に処理する場合は、速度を優先するため、パラパラアニメは表示しません。

▶ OS を macOS Sierra にしたら、フォントが生成されなくなりました。

Mac 版の Drop&Type 1.0 は、macOS Sierra 10.12 に対応していません。Mac 版の Drop&Type 1.0.1 が macOS Sierra 対応版となりますので、こちらをご利用ください。

▶ Drop&Type 1.0 と Drop&Type 2.0 は、どう違うの？

一つのフォントに格納できる文字数は、Drop&Type 1.0 では最大 280 字、Drop&Type 2.0 では最大 3,000 文字です。

また、Drop&Type 1.0 が扱えるのが全角文字（正方形枠）のみであるのに対して、Drop&Type 2.0 は、プロポーショナル字幅の欧文をサポートしています。

▶ Drop&Type で作った文字を仕事に使うことはできますか？

はい。商用利用可能です。

* サンプルシートで生成した試作フォント「TP 明朝サンプル」は、商用での使用を禁じています。

▶ Drop&Type で作った文字を配布することはできますか？

無償配布することはできます。販売はできません。

* サンプルシートで生成した試作フォント「TP 明朝サンプル」は、配布できません。

▶ Drop&Type 2.0 で合計 3,000 字以上を含むドロップシートを同時にドロップしたらどうなりますか？

3,000 字を超える場合は、最初に解析したファイルから順に 3,000 字までのフォント生成を行います。